

部 長

各事務局長

市 長

令和5年度予算編成方針について

我が国においては、新型コロナウイルス感染症対策の新たな段階への移行が進む一方、世界的な物価高騰への対応やエネルギーの安定供給確保など、様々な課題に直面している。

こうした中、我々は、引き続き、広い視野で情勢の変化を捉え、感染症対策を講じながら、社会経済活動の回復を図るとともに、コロナ後の新しい未来を切り拓いていかなければならない。

そのためには、市民や企業などとの協働により、地域の強みである「食」を核に、まちづくりの様々な分野において、新たな価値の創出を図りながら、第七期総合計画を着実に進め、十勝・帯広の持続的発展につなげていくことが重要である。

令和5年度予算編成においては、こうした考えのもと、公約の取り組みを具現化するとともに、総合計画の第二次推進計画の策定を念頭に、これまでの実施内容をしっかりと検証し、課題の本質を見極めながら、事業の構築を図っていく必要がある。

また、社会保障関係経費の増加や現下の物価高騰等の影響により、更なる財政の硬直化が危惧されることから、各部においては、柔軟な発想や、庁外の知見等を積極的に取り入れながら、全庁連携した議論を行うとともに、限られた財源の中で最大の効果が生まれるよう、予算を編成されたい。